

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	社会福祉法人函館恵愛会 クレドホテル函館
住 所	函館市深堀町22-42
電話番号	0138-54-7878

事業所番号	0111402004
管理者名	高田 美和子
対象年度	4年度

(Ⅰ) 労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上		30
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満	○	点
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

(Ⅱ) 生産活動		
①前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	40 点
②前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上		
③前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上		
④前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上でない		
①40点 ②25点 ③20点 ④5点		

(Ⅲ) 多様な働き方（※）		
①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度		35

（※）任意の5項目を選択すること （注1）8以上:35点、6～7:25点、1～5:15点

(Ⅳ) 支援力向上 (※)		
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		35 <

（※）任意の5項目を選択すること （注2）8以上:35点、6～7:25点、1～5:15点

(Ⅴ) 地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10 点
1事例以上ある場合:10点		

項目	点数								
労働時間	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点	30
生産活動	5点		20点		25点		40点		40
多様な働き方	0点		15点		25点		35点		35
支援力向上	0点		15点		25点		35点		35
地域連携活動	0点				10点				10

合計	
150	点 / 200点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ）

(Ⅰ) 労働時間					
前年度（ 4 年度）					
雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	48,441	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	14,087	人
				利用者の1日の平均労働時間数	3.4
					時間
(Ⅱ) 生産活動					
会計期間（ 4 月～ 3 月）					
前々年度（ 30 年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	38,950,406	円	利用者に支払った賃金総額	30,384,439	円
				収支	8,565,967
					円
前年度（ 元年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	38,465,361	円	利用者に支払った賃金総額	36,541,540	円
				収支	1,923,821
					円
(Ⅲ) 多様な働き方					
前年度（4 年度）における実績（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載）					
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度 ◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を活用した人数 名 ※取得を進めた免許等： 制度の活用内容：		②利用者を職員として登用する制度 ◎職員として登用した人数 名 ◎うち1名は雇用継続期間が6月に達している ☐ ◎うち1名は前年度末日まで雇用継続している ☐ ※登用した日 年 月 日 勤務形態： 就業時間： 時 分～ 時 分 職務内容：		③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律 ◎在宅勤務を行った人数 3 名 ※実施した期間：4 月 1 日～3 月 31 日 就業時間（在宅勤務）：9時00分～12時00分 職務内容：小物製作・水産加工シール貼り 学習ソフトを使用した一般就労支援	
④フレックスタイム制に係る労働条件 ◎フレックスタイム制を活用した人数 名 ※実施した期間： 月 日～ 月 日 就業時間（コアタイム）： 時 分～ 時 分 職務内容：		⑤短時間勤務に係る労働条件 ◎短時間勤務に従事した人数 5 名 ※実施した期間：4 月 1 日～3 月 31 日 就業時間（短時間）：10時00分～ 時 分 職務内容：客室清掃・水産加工・事務作業		⑥時差出勤制度に係る労働条件 ◎時差出勤制度を活用した人数 21 名 ※実施した期間：4 月 1 日～3 月 31 日 就業時間（早出の場合）：9時00分～12時00分 就業時間（遅出の場合）：10時00分～15時00分 職務内容：早出：ホテル清掃業務 遅出：水産加工業務	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度 ◎時間単位取得を活用した人数 名 ◎計画的付与制度を活用した人数 40 名 ※取得した制度 有給休暇の時間単位取得 ☒ 計画的付与制度 ☒ 取得した期間：4 月 1 日～3 月 31 日 取得日数・時間 190 日 時間		⑧傷病休暇等の取得に関する事項 ◎傷病休暇等を取得した人数 3 名 ※取得した内容：水頭症・がん治療、腕手術 取得した期間：4 月 1 日～3 月 31 日 就業時間：10時00分～14時00分 職務内容：客室清掃・在宅勤務		(※) 当該制度等を活用した任意の1 名の実績を記載	
(Ⅳ) 支援力向上					
前年度（4 年度）における実績（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載）					
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会 ◎研修計画を策定している ☒ ◎研修実施回数 外部 3 回 / 内部 2 回 対象職員数 82 人 うち研修受講者数 49 人 ※研修名 気持ちのコントロール法 研修講師 カンベリン MaNa 高島 昌彦 実施日・受講者数 1 月 13 日 49 人		②研修、学会等又は学会誌等において発表 ◎研修、学会等又は学会誌等において発表している回数 5 回 ※研修学会等 ☒ 福祉労働者・付属支援・連絡会等 実施日 6/30 7/21 8/27 11/25 2/15 ※学会誌等名 掲載日 月 日 発表テーマ		③視察・実習の実施又は受け入れ ◎先進的事業者の視察・実習の実施している ☒ ◎他の事業所の視察・実習を受け入れている ☒ ※先進的事業者名 知内町民健康推進委員会 実施日 / 参加者数 7 月 5 日 14 人 ※他の事業所名 函館市立深堀中学校 実施日 / 参加者数 10 月 21 日 6 人	
④販路拡大の商談会等への参加 ◎販路拡大の商談会等への参加回数 5 回 ※商談会等名 主催者名 渡島総合振興局・マルキチ食品 築木農園・農福プロジェクト・木村農園 日時 4/5 6/21 6/30 10/24,25 2/28 内容 施設外就労・受託業務の商談		⑤職員の人事評価制度 ◎職員の人事評価制度を整備している ☒ ◎当該人事評価制度を周知している ☒ 人事評価制度の制定日 4 年 4 月 1 日 人事評価制度の対象職員数 13 名 うち昇給・昇格を行った者 13 名 当該人事評価制度の周知方法 面談		⑥ピアサポーターの配置 ◎ピアサポーターを配置している ☐ ◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している ☐ ※配置期間 月 日～ 月 日 就業時間 職務内容	
⑦第三者評価 ◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている ☐ ※評価を受けた日 月 日 第三者評価機関		⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等 ◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている ☐ ※認証を受けた日 月 日 規格等の内容		(※) 実績のうち1事例を記載	

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	クレドホテル函館	事業所番号	111402004
住 所	函館市深堀町 2 2 - 4 2	管理者名	高田 美和子
電話番号	0 1 3 8 - 5 4 - 7 8 7 8	対象年度	4 年度

地域連携活動の概要

<活動内容> 活動場所：新函館農業協同組合 七飯支店花卉課 ・大中山農産センター花卉共撰場・函館支店資材倉庫 実地日程：令和4年6月1日～令和4年12月22日 実施した生産活動：カーネーション選別業務 施設外就労の概要：令和元年10月より渡島振興局による農福連携取組に参加。実習体験を経て、福祉事業所とJAとのマッチングにて3年目のJA共撰作業に参加することになった（利用者8名）	<活動の様子> ・農福連携3年目は函館恵愛会から3事業所が参加しました 
<目的> 地域連携活動のねらい：企業側と福祉側それぞれの課題があり、双方が取組を通して農福連携について知ることができる。企業様のメリットとしては、繁忙期の人手不足解消や法定福利費のコスト削減となる。対象者（障がい者）にとってのメリットは、賃金向上や体力面、企業の社員さんと一緒に働くことにより一般就労に近い環境の中で勤務する機会となる。	・今年度初の試みとして農協さんより就労場所を2カ所提供して頂き、函館支店資材倉庫でも選別作業を行いました。 
<成果> 実施した結果：参加者がより一般就労に近い環境で働くことができ、就労に関する意識が高まった。 得られた成果：参加者のうち2名が共撰作業後から一般就労を目指しハローワークに通い、積極的に応募や面接を行っている。 今後の課題：一般で勤務しているパートさんと連携しコミュニケーションを取れるように努め、障がい者の特性を理解して頂けるな支援を行う必要がある。	

連携先の企業等の意見または評価

【連携した結果に対する意見または評価】 今回3年目となる農福連携では、昨年よりも多くの障がい者を受入れた。受入れを多くすることにより作業がどの様に変化するか見守りながらの状況でしたが、作業日数が経過するにつれ個人差はあるものの選別作業処理も早くなり、例年と同じくらしいペースで進めることができよかった。 農福連携を通し、障がいのある方が挨拶をすることや仕事を早く覚えようとする姿がみられると共に、少しずつ自主的に行動できるようになった。 【今後の連携強化に向けた課題】 今後の連携強化に向けて、障がいのある方は個々の作業能力や体調に差がある為、「障がい者に合わせた働き方」と「作業の見直しによる効率向上」が必要であると感じている。また、一般従業員（パート職員）と障がい者の円滑な連携を福祉施設職員を通じておこなっていく必要もある。			
連携先企業名	JA新はこだて七飯営農センター生産施設課（花卉）	担当者名	壁坂 俊哉